

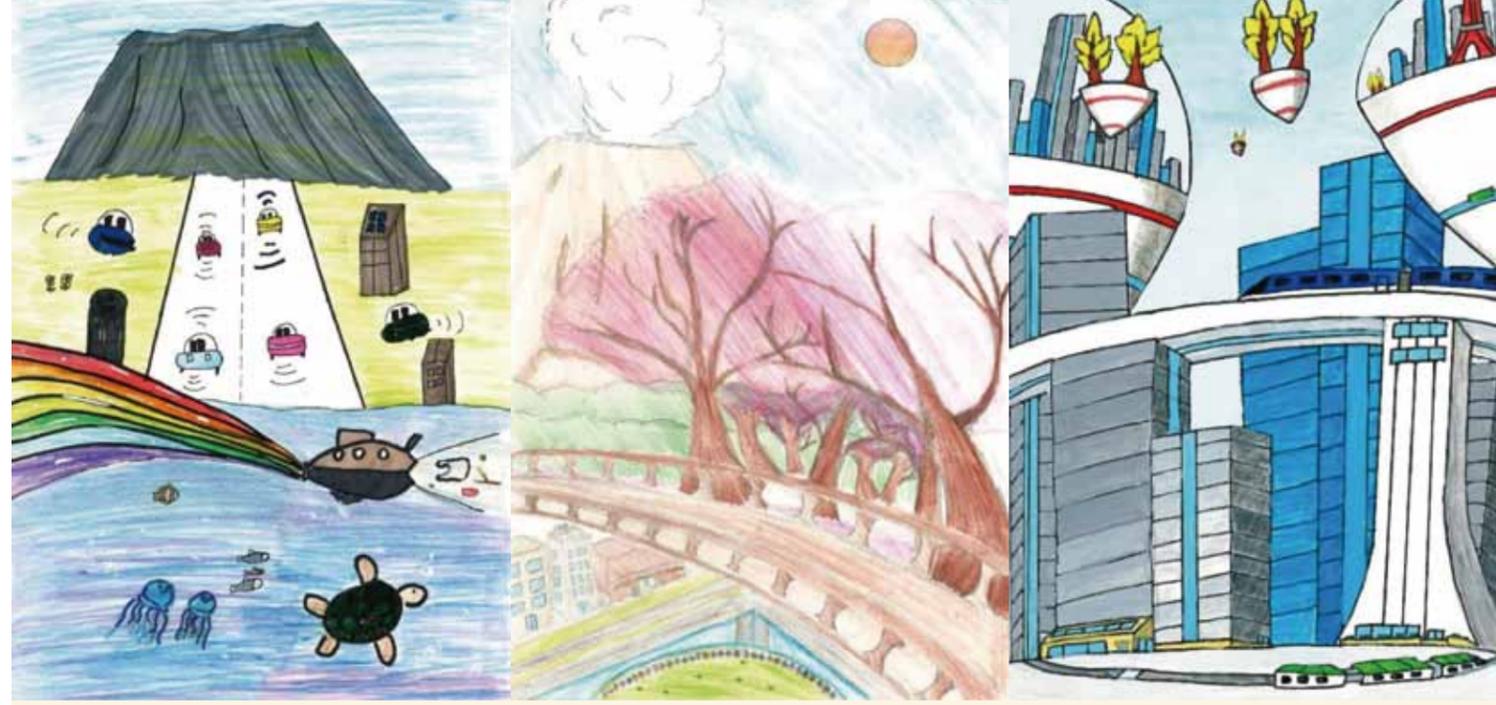
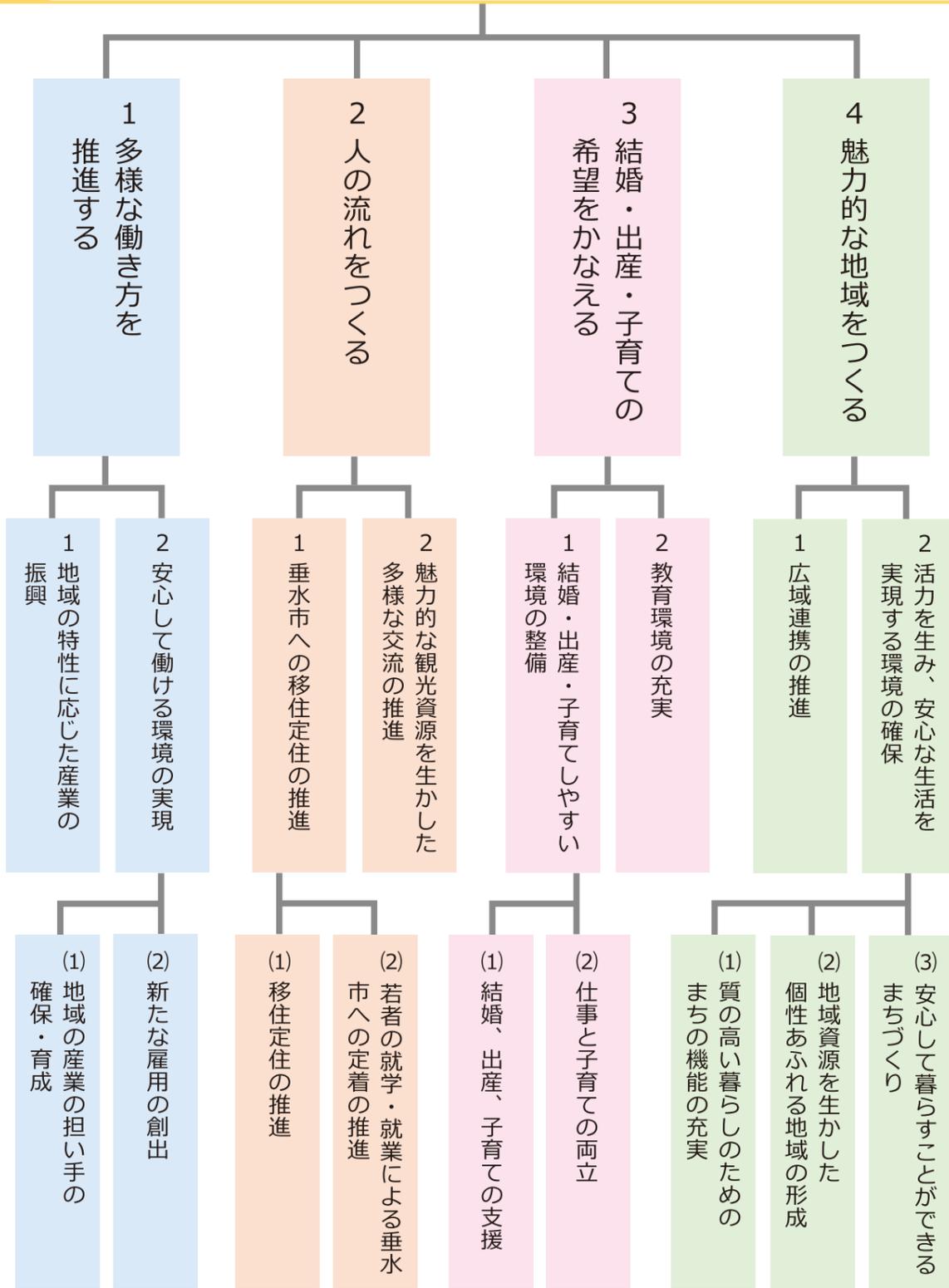
# 基本目標



まちの将来像を実現するために、各施策が体系的かつ効果的に展開していくことを目指し、4つの基本目標を設定することとし、それぞれの基本目標を達成するために、基本目標ごとに基本的方向を定めることとします。

将来像

豊かな食と自然を未来へつなぎ みんなでつくる 笑顔あふれるまち 垂水市



# 第6次垂水市総合計画

第3期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要版】

2025 ▶ 2034



# 第6次垂水市総合計画兼第3期垂水市 まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

## 1 はじめに（これまでの経緯）

本市はこれまで、「垂水市総合計画」と「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2つのまちづくりの指針がありました。しかしながら、人口減少・少子高齢化は予想を上回る速さで進行し、また、新型コロナウイルス感染症の拡大や、ウクライナにおける紛争、物価高騰等、社会を取り巻く情勢は大きく変化しています。このような情勢に対応するため、次期計画については、これら2つのまちづくりの指針を統合し、より実行性の高いものとするべく、第6次垂水市総合計画兼第3期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第6次総合計画兼第3期総合戦略」という。）を策定することとしました。

## 2 第6次総合計画兼第3期総合戦略とは？

本市では、市民の皆さんと行政が一体となって、美しい自然や歴史・文化、暮らしや産業、市民ネットワーク（※つながりのこと）等の“垂水らしさ”を生かした魅力あるまちづくりに取り組み、地方創生を図るために、今後10年のまちづくりの指針を示すこととしています。このまちづくりの指針が「第6次総合計画兼第3期総合戦略」です。

## 3 まちの将来像

まちの将来像については、将来の創り手である子どもの意見を反映させることとしました。意見の集約に際しては、市内各小・中学校で総合的な学習の時間を活用して学んでいる学習内容を踏まえ、まちのありたい姿や将来像について考え、わかりやすい標語の形として提出するという手法を取りました。このような取組を通じ、最も多く使用された文言等を抽出し、また、類似する考えや言葉を統合し、さらに、児童・生徒にも分かりやすい言葉を用いることとし、まちの将来像を「豊かな食と自然を未来へつなぎ みんなでつくる笑顔あふれるまち 垂水市」と決めました。本市はこの将来像の実現を目指し、まちづくりに取り組んでいきます。



豊かな食と自然を未来へつなぎ

みんなでつくる 笑顔あふれるまち 垂水市

## 4 まちづくりの目標

第6次総合計画兼第3期総合戦略においては、まちづくりの目標人口とまちづくりのための4つの基本目標を定めております。

将来目標人口

7,000人

目標人口は「目指すまちの将来像」の実現に向けた取組の成果として最も基本的な指標となるものです。令和6年（2024年）に策定した第2期垂水市人口ビジョンでは、純移動率が現状に近い値で推移するよう、人口の定着率の増加に取り組むことで、国の長期ビジョンの最終年度である令和42年（2060年）における将来目標人口として、7,000人程度の人口規模が維持されることを目指すこととしました。

※令和42年（2060年）まで

## まちづくりの視点（基本理念）

将来像を実現するためには、本市に携わる多様な主体が協働し、次の4つの視点で、まちづくりに取り組む必要があります。

地域の宝物 地域資源を積極的に活用します	市民主体 自ら考え共に行動します
次世代人材育成 地域“愛”を育みます	安心・安全 みんなで支え合います

## まちづくりの進め方

まちづくりの目標を達成していくためには、次の3つの方策に基づき、まちづくりを進めていきます。

### ① 市民と行政の協働によるまちづくり

市民が主体となる地域活動を支援し、活動取組や人材の育成、活動拠点の充実を図ります。

### ② 健全で安定した行財政運営の推進

市民への説明責任を果たすとともに、コスト削減に努め、行財政改革を推進します。

### ③ 隣接市等との広域連携の推進

隣接市や関係機関等との連携を強化し、効果的に市民生活の利便性向上等を図ります。

## まちづくりの進め方と政策の主な内容

以下の4つの基本目標を掲げ、まちづくりを実践します。

### 1 多様な働き方を推進する

若年層が夢を持ち、魅力ある誇れる仕事づくりや雇用環境の整備を図っていくことが重要であり、多様な働き方を推進することが必要です。

#### 政策展開の方向

- 地域の特性に応じた産業の振興
- 地域産業の担い手の確保・育成
- 新たな雇用の創出

### 2 人の流れをつくる

人口減少・少子高齢化の中、地域活性化を図るためには、交流人口や市外からの移住・定住を推進し、流出する人の流れをやわらげることが求められます。

#### 政策展開の方向

- 移住定住の推進
- 若者の就学・就業による垂水市への定着の推進
- 魅力的な観光資源を生かした多様な交流の推進

### 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

少子化については、様々な要因が複雑に絡み合っているため、結婚、出産、子育てを望む人に必要な支援を行い、それぞれの希望をかなえます。

#### 政策展開の方向

- 結婚、出産、子育ての支援
- 仕事と子育ての両立
- 教育環境の充実

### 4 魅力的な地域をつくる

人口構造の変化による地域活力の低下を防ぐため、地域の個性を生かしつつ、効率的な魅力あふれる地域づくりを実現することが重要です。

#### 政策展開の方向

- 広域連携の推進
- 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実
- 地域資源を生かした個性あふれる地域の形成
- 安心して暮らすことができるまちづくり